

安倍政権の『暴走』許さない 自由と民主主義を守る 国民大運動の年に

国民が
主人公
2014年



日本共産党

みなさんとごいっしょに

今年も一生懸命がんばります。

平和と
民主主義

憲法守り、生かす

- ・秘密保護法廃止
- ・9条守り、集団的自衛権行使は許さない

暮らしと
経済

大企業応援から暮らし応援

- ・4月からの消費税増税中止
- ・大企業・大資産家への減税やめ、応分の負担を
- ・年金の引き下げストップ
- ・子ども医療費は中学校卒業まで
- ・過大な水源開発をやめ、水道料金引き下げを

原発と
放射能

いのちを守る

- ・再稼働せず、ただちに「原発ゼロ」へ
- ・自然エネルギーへの転換
- ・子どもの健康調査、「除染」の促進と徹底

雇用と
青年

希望のもてる日本に

- ・ブラック企業の根絶
- ・正規社員があたりまえの社会に
- ・最低賃金の引き上げ

まちづくり

住民の知恵と力で

- ・駅前開発優先から生活・福祉型のまちづくり
- ・県営競輪場の転用…文化・スポーツ施設など有効活用

昨年は大変お世話になりました。



■加増みつ子市議



■遠山ちえ子市議



■鈴木きよし市議



■関戸 勇市議

日本共産党は、安倍政権の暴走に対決する
かつたのではないだろうか。

二〇一四年元旦

日本共産党取手市委員会
日本共産党取手市議団



茨城県議選の年
広がった共同いっそう広げ
暮らしと平和を守りましょう

新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

昨年は、憲法、原発、消費税、TPP等の安倍内閣の暴走に、各界、各層から多くの反対の声と運動が広がりました。

とりわけ自民・公明が強行した「秘密保護法」については「国民の知る権利、表現の自由を守れ」との声が大きく広がり、同法成立後も「直ちに廃止を」の世論と運動はさらに大きなうねりとなって広がっています。平和と民主主義を求めるエネルギーが国民の中に深く根づいていると、改めて実感された方も多かったのではないだろうか。

とともに、市民のみなさんとの共同を強め、政治の流れを、この取手からも変えていくために全力を尽くします。

今年十二月には、茨城県議会議員選挙が行われます。日本共産党は取手での議席獲得と、全県での議席増をめざします。本年もご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



利根川土手から見た富士

明るい取手

発行:日本共産党取手市委員会 ◆日本共産党の見解を紹介します。
取手市井野3-19-6 TEL:72-7816 FAX:72-7817
2014年1月号外 ◆E-mail / jcp.toride@blue.ocn.ne.jp ◆HP / http://toride.jcpweb.net

一人で悩まずに お電話を
生活相談・労働相談 / 弁護士無料法律相談
TEL.72-7816



やりがいや
働きがいを
持って生活したい」20、30
代の若者が交流の場で話して
いた共通する思いです。今も
昔も変わらぬ思いの実現を。

茨城県労働組合総連合事務局長
丸山 俊介



年金引き下げは
許さない

昨年12月に不当な年金引き
下げが始まりました。「不服
審査請求」への取り組みなど、
取り消し運動を強めていく年
です。
皆さまの絶大なるご支援を
よろしく願っています。

菅生 隆



小・零細業者
泣かせの
悪税

消費税が上がったからと、
労賃・資材・道具代を転嫁値
上げすれば、需要減は必至。
全く小・零細業者泣かせの
悪税です。増税を中止させま
しょう。

造園業
松隈 伸行



安心して
子育てできる
地域を

取手はホットスポットと
呼ばれる放射能が高い地域
で、子どもの健康への影響
が心配です。学校検診に放
射線対策を含めるなど安心
して子育て出来る地域を望
んでいます。

新日本婦人の会取手支部
高洲 英子



「秘密保護法」廃止
大義は
我らにあり

安倍内閣は、国民の8割強
の反対意思に脅威を感じたか
ら、特定秘密保護法の強行採
決に出たのだ。大義は我らに
あり、廃止に向け結集しよう。

ふじしろ平和の会
遠藤 俊夫



親の高齢化に
早急に対応を

今年4月開設のケアホー
ムは、みんなが安心して暮
らす取手への大きな一歩。
市内の障害者認定4千人
の自立支援へ向けた今後の
取組に注目しています。

取手の知恵に期待
天野 晃隆



よい医療や
福祉の実現へ
力をつけたい

平和は全ての源という想いで、よい医療や福祉の実現のために、常に社会の在り方と向き合い、力をつくし前進していきたいです。

あおぞら診療所
小池 悦子



国民の声を
政府はしっかり
聞くべきです

原発事故により放射能ホッ
トスポットの取手市。市民の
安全のために奮闘する日本共
産党市議団に期待しています。
官邸前抗議に参加してい
ますが、再稼働反対の国民の
声を政府はしっかり聞くべき
です。

病院事務職
杉田 大樹



憲法9条は
いつでも旬

秘密保護法に続いて、共
謀罪、盗聴法、愛国心まで
とび出してきました。こん
な悪法は次世代に渡せませ
ん。戦争に加担しない、武
力は行使しない、憲法9条
はいつでも旬なのです。

取手九条の会世話人
松浦 和子



秘密保護法は
政治家の
歴史的な失策

政府が持つ情報は、時の
為政者のものではなく、国
民の財産であるはず。特
定秘密保護法は、その
ことを理解できていない政
治家の歴史的な失策といえ
るでしょう。

ジャーナリスト
松沼 平

12月定例 取手市議会

くらし・民主主義の問題で、 日本共産党の役割がより鮮明に

昨年の12月定例市議会は、市長提案議案、補正予算、意見書、請願、陳情あわせて49案件が審議されました。日本共産党は35件に賛成し、14件に反対しました。

日本共産党は、他会派にも呼びかけ「秘密保護法案の慎重審議を求める意見書」「強行採決に抗議し、廃止を求める意見書」を提案するなど、市民の願い実現に奮闘しました。



秘密保護法 廃止の声を さらに大きく

ブレーキどころかアクセル踏んだ公明、みんな

昨年11月29日、日本共産党のよびかけで市議会に提案した「秘密保護法案の慎重審議を求める意見書」が賛成13（共産4、民主2、ネット1、無所属6）、反対10（公明4、みんな1、無所属5）で可決しました。

しかしながら、国会では12月6日、自民・公明が国民の反対世論を恐れ、強行採決し成立。

12月16日の市議会最終日、日本共産党と生活者ネットワークは強行採決に抗議し「秘密保護法の廃止を求める意見書」を提案。公明4、みんな1、無所属8が反対（賛成10、反対13）で否決されました。

介護保険 自公政権が「介護保 険制度」を大改悪

市議会で、国の介護保険制度改悪を やめさせる意見書を可決

厚生労働省は、要支援者のデイサービス・ホームヘルプサービスを介護保険から外し、市町村の裁量に任す「新しい地域支援事業」に移行すると発表。必要なサービスが受けられない等、懸念される問題です。要支援者の介護予防事業をしっかりと進めることで介護を必要とする高齢者の増加を抑制し、安心して生活することができます。

日本共産党は、国に対し「要支援者への介護保険給付の継続を求める意見書」を提出。公明4、無所属3が反対しましたが、賛成多数（16対7）で可決しました。

ズサンすぎる 取手駅前開発

税金使い放題



歩行者デッキ 2014年3月完成予定

当初4億4070万円で契約した建設費に2122万円の増額補正。
誘導員増員、防犯カメラ設置、屋根に雪止め追加、支柱への落書き防止等に1722万円。車の進入止めなどに210万円。竣工式典になんと200万円も！

駐輪場タワー 2014年3月完成予定

約7億円（地代含む）の事業費で建設中の駐輪場。「管理費は年間3800万円かかる」と議会で報告。これまでの説明では、「駐輪場の新設で管理費は削減できる」と説明していましたが、管理費は約800万円増えます。

ウェルネスプラザ 2015年3月頃オープン予定

総事業費は当初の約7億円が、その後12億円に…。そして今、当初予算の「2倍以上に膨らむのでは」と取りざたされています。市は詳細設計の結果は「まだ」だとして、いまだに発表していません。建設が始まれば、さらに膨らむ心配も…。